

2023年度版
環境レポート

神馬化成株式会社

No.18 (2023年10月～2024年9月)

2025年 2月 17日発行

2025年 3月 26日改訂

目次

1、事業の概要	P,1
2、環境経営方針	P,2
3、環境経営による現状把握	P,3
4、組織図(実施体制)	P,4
5、環境目標と評価	P,5
6-1,2、実績(エネルギー資源・環境資源排出量)	P,6-7
7、環境保全取組活動について	P,8
8、環境関連法規への違反、告訴等の有無	P,9
9、次年度の取り組み	P,10
10、代表者のコメント	P,10

1,事業の概要		
事業者名	神馬化成株式会社 代表取締役社長 荒木 晴美	
所在地	熊本県宇土市石橋町168番地	
総従業員数	2024年09月30日現在	16 人
環境保全関係の担当者連絡先	環境責任者 林田 拓朗 連絡先 TEL 0964-23-3850 FAX 0964-22-0886	
オフィス規模	オフィス面積 34.74 平方メートル	
工場規模	工場床面積 737.3 平方メートル	
倉庫規模	倉庫床面積 473.92 平方メートル	
事業内容	射出成形機によるプラスチック合成樹脂製品の生産及び販売	
主要製品生産量(個数)	2023年度分	36,786,601 個
売上高	2023年度分	¥ 175,500,000
事業年度（期首～期末）	2023年10月01日～2024年09月30日	

2、環境経営方針

基本理念

当社では、住みよい地球と豊かな社会を残す為、環境保全活動に努めます。

基本方針

- 1、 環境の保全 ・ ・ ・ 当社では、事業活動である合成樹脂射出成形による製作された製品により発生する環境負荷の低減を図る為、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標を定め、エネルギー使用量の低減、環境負荷の持続的改善に取り組みます。

行動指針

- 1) 考える ・ ・ ・ 原材料の搬入、部品加工及び顧客への製品納入における各段階での環境負荷低減を積極的に努めます。
- 2) 大切に使う ・ ・ ・ 原材料(成形樹脂、事務用品)、消費エネルギーの利用効率化と廃棄物のリサイクルに努める。
- 3) 守 る ・ ・ ・ 環境に関する、法律及び条例の遵守の維持に努めます。
緊急事態/事故に備え、環境への影響の予防、緩和に努めます。
仕入客先の要求事項(規制化学物質、CiP管理)の遵守に努めます。
- 4) 見直す ・ ・ ・ 目的・目標を立て計画的に活動内容を自主的に見直し改善に努める。
環境目標は、1回/年、見直しを行う。
- 5) 育てる ・ ・ ・ 全社員の環境意識向上の為、教育を実施し環境活動に努める。
- 6) 公開する ・ ・ ・ 環境方針は顧客や地域住民が誰も入手出来るよう公開する。

制定日 2004、11、01
改訂日 2024、01、31

神馬化成株式会社

代表取締役 荒木晴美

3,環境経営(会計)による現状把握

環境経営(会計)による現状把握

経營業務においてコストダウン出来るものとして今まで環境活動で考えられるものとして
廃棄物処理、材料の売価、環境設備の維持管理に要するコストについて経費が発生している。

今後も引き続き廃棄処理、材料売価、環境設備、化石燃料の見直しの継続を実施する。

環境設備については以前より設備も増えてたことで以前と比較し電気使用量の管理引き続き実施する。
昨年度8月より電力会社を選定し更に1社に変更し費用面の見直しで再度費用の
値下げで経費削減ができると考える。

成形について製品不良が多いと廃棄処理費、電気使用、材料の損失が発生する。
不良についての廃棄品は再生材料利用、材料売価、最終処分の3つに区分され、
不良低減で経費を抑え何らかの工夫、対策を取らないとコストダウンが出来ないものと考えら

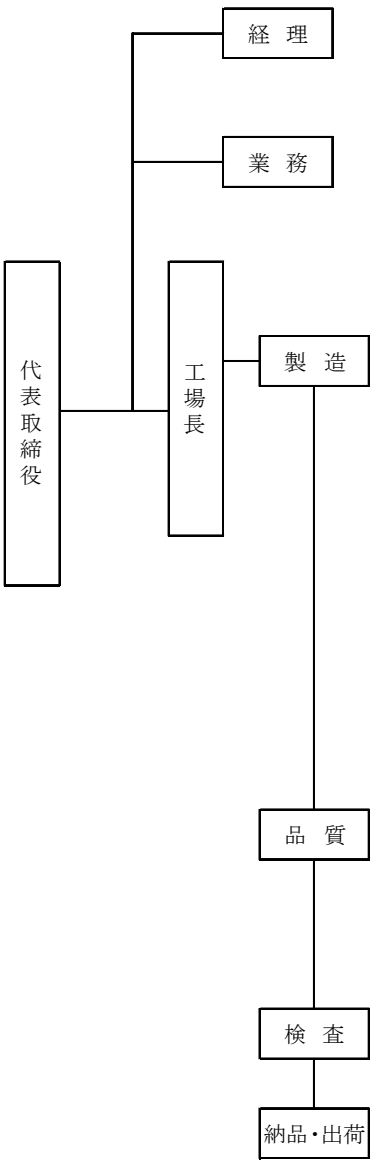
環境経営への活用価値は大きく、内部での管理の活用を考えると
情報開示での活用が5つがある。下記の内容を目標に設定する。

- ①コストダウン出来るのを見つける
 - ②効果的な方法を考える
 - ③環境会計にて計算し管理する
 - ④エネルギー使用量の低減
 - ⑤CO2排出量の低減
- 5年間で製品千個当たりのCO2排出量5%低減を目標とする
(2018年度を基準とする)

4,実施体制

神馬化成(株)組織図

※2025/2/17現在



役 割
経理一般 材料受注管理 会社窓口
金型担当 (部品発注、金型メンテ) 購買関係 納品関係 ELITE担当
トータル管理責任者 (成形・品質・金型・設備・検査・環境保全)
部品製造・金型メンテ 再生材担当・材料搬入確認・廃プラ担当
部品製造 材料搬入確認 材料配布
工程製品完計量・梱包 部品完計量・梱包 工程部品完検査
ライン作業・検査・梱包
環境保全担当者 (環境・規制化学物質/CiP情報調査/顧客対応) 品質管理 (図面・文書・PQC・ISS・PQC・NRS・PCR)
部品出荷検査 計測器管理 工程間・出荷時の部品寸法測定 検査データ管理
部品検査/部品完検査
納品・出荷担当 配送

※ 備 考

- ・ 全ての管理責任者は、工場長とする。但し、経理・業務の承認は社長とする。
- ・ 各担当はそれぞれの役割について責任権限を持つ

5,環境目標と評価

CO2排出量(製品千個に対して)、廃棄物排出量等が削減させる事を目標とし
原則、前年度比マイナス1%を中長期目標とします。

1) 目標の達成状況

当社は、2023年10月から2024年9月迄の間、以下の環境目標を設定し、その達成に向けて
環境保全活動に取り組んできました。その結果を下記に示します。

電力・化石燃料使用量(前年比)

環境負荷項目		単 位	22年度負荷値	目標	目標値	23年度負荷値	前年比	
使用電力使用量	電気	kwh	698,348	前年比1%削減	691,364.5	616,234	↓	-10.8%
	軽油	ℓ	7,279.41	前年比1%削減	7,206.6	5,308.30	↓	-26.3%
	ガソリン	ℓ	2,488.48	前年比1%削減	2,463.6	2,337.00	↓	-5.1%
	灯油	ℓ	0.00	前年比1%削減	0	0.00	-	**%
	合 計(ℓ)		9,767.89		9,670.2	7,645.30	↓	-20.9%
総エネルギー合計(MJ)			708,115.89			623,879.30	11.8%減	

達成
達成
達成
-

		22年度実績	目標	目標値	23年度実績	
廃棄物のリサイクル化 推進(有価材)	Kg/生産高(千個)	0.98013	前年比3%増	1.009534	1.00191	達成
節水活動の推進	m ³ /生産高(千個)	0.22682	前年比1%削減	0.224552	0.23028	未達

エネルギー種別	基準	目標(5年間で5%減)1%/年						5年間の実績				
	18年度製品千個当り CO2排出量	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
電気A社(kwh)	6.7542	6.68666	6.61979	6.55359	6.48806	6.42318	4.24606	5.2288	1.45552	7.7807	6.8011	
電気B社(kwh)	0.9868	0.97693	0.96716	0.95749	0.94792	0.93844	1.96566	6.2716	0.46902	0.48214	0.3723	
軽油 (ℓ)	0.3759	0.37214	0.36842	0.36474	0.36109	0.35748	0.37676	0.3417	0.17555	0.14821	0.1474	
ガソリン (ℓ)	0.1254	0.12415	0.1229	0.12168	0.12046	0.11925	0.15608	0.1421	0.05979	0	0.0000	
灯油 (ℓ)	0.0631	0.06247	0.06184	0.06123	0.06061	0.06001	0.0701	0.0607				

※18年度を基準とし来年より評価の実施

製品生産実績

※22年度(22年10月～23年9月)実績											
製品生産項目	単 位	18年度製品生産量	19年度製品生産量	20年度製品生産量	21年度製品生産量	22年度製品生産量	23年度製品生産量		前年製品生産量比率(%)		
生産数量	千個	50,219.0	37,212.9	39,479.5	38,940.1	38952.8	36786.6		5.56		
出荷数量	千個	48,605.1	36,871.4	38,120.0	38,449.1	37688.7	34547.2		8.33		
歩留(歩)数率	%	97%	99%	96.5%	98.7%	96.7%	93.9%				

評価

・エネルギー使用量について電気使用量は工場内電気のLED化、エアコンの省エネ化を行って大きく成果に繋がった。

化石燃料についてはトラックを1台減らした事により軽油は減少しました。

混載にて輸送することで別便(乗用車)の使用を減らしているためガソリンは減少しました。

又、灯油についてはエアコンに切り替えた為、石油ストーブを使用しなくなり削減できました。

・18年度を基準にして製品千個当たりのCO2排出量低減等に照準を当てております。

電気A社については2020年8月より電気B社に完全移行していたが、電力値上げの影響により
2022年8月より再度A社のみに切り替わりました。

・目標が未達となった場合+1～+3%は△ 3%以上は×とし是正処置をとる。

6-1 実績(エネルギー・資源・環境資源排出量)

電気使用量

※令和5年電力会社のCO2排出係数参照

電力1

購入先：

A社

平均単価：

21.8

円/kWh

排出係数：

0.406

kg-CO2/kWh

項目		2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	合計	月平均
使用量	kWh	55,916.00	56,942.00	52,736.00	47,944.00	49,514.00	45,861.00	44,202.00	46,280.00	51,749.00	60,856.00	47,800.00	56,434.00	616,234.00	51,352.83
料金	円	1,121,276	1,122,871	1,062,555	991,105	1,016,213	958,525	1,026,304	1,097,227	1,231,570	1,440,322	1,099,468	1,244,485	13,411,921	1,117,660
CO2排出量	kg-CO2	22,701.90	23,118.45	21,410.82	19,465.26	20,102.68	18,619.57	17,946.01	18,789.68	21,010.09	24,707.54	19,406.80	22,912.20	250,191.00	20,849.25

化石燃料使用量

※排出係数は「地球温暖化対策の推進に関する法律」の単位発熱量と炭素排出係数を用い、算出しています
(「単位発熱量」×「炭素排出係数」×44/12)。**【参考】**二酸化炭素の分子量は44、炭素の原子量は12。

①ガソリン

排出係数：

2.32

kg-CO2/L

項目		2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	合計	月平均
使用量	L	188.58	238.87	255.87	166.46	198.21	185.74	207.19	199.65	114.14	212.90	187.52	182.01	2,337.14	194.76
料金	円	31,926	41,121	44,746	29,224	34,668	29,900	31,243	35,139	20,122	37,422	32,508	31,664	399,683	33,307
CO2排出量	kg-CO2	437.51	554.18	593.62	386.19	459.85	430.92	480.68	463.19	264.80	493.93	435.05	422.26	5,422.16	451.85

②軽油

排出係数：

2.58

kg-CO2/L

項目		2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	合計	月平均
使用量	L	624.76	716.50	570.88	631.95	344.49	258.23	300.12	419.70	360.80	416.90	301.64	362.33	5,308.30	442.36
料金	円	86,479	101,291	84,261	91,395	49,595	37,232	43,603	60,879	52,699	60,387	42,752	52,164	762,737	63,561
CO2排出量	kg-CO2	1,611.88	1,848.57	1,472.87	1,630.43	888.78	666.23	774.31	1,082.83	930.86	1,075.60	778.23	934.81	13,695.41	1,141.28

③灯油

排出係数：

2.49

kg-CO2/L

項目		2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	合計	月平均
使用量	L	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
料金	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO2排出量	kg-CO2														

最終処理量						計
最終処分(埋立)量	kg					
処理費用	円					0

材料有価量		2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	計
再資源化量	kg	2584	3841	3059	2398	2291	3249	4015	3817	0	3373	4268	3957	36852
処理費用	円	(68)	(37553)	(18117)	(17039)	(9038)	(30964)	(25778)	(13991)		2357	(56436)	(977)	(207604)

総エネルギー使用量とCO2排出量

項目	量		料金 (円)	CO2排出量 (kg-CO2)	割合
電力1	616234.00	kWh	13,411,921	250191.00	92.9%
ガソリン	2337.14	L	399,683	5422.16	2.0%
軽油	5308.30	L	762,737	13695.41	5.1%
灯油		L	0	0.00	
合計 (エネルギー)			14,574,341	269308.58	100.0%

製品生産当りのCO2排出量

※ 23年度 (23年10月～24年9月)

エネルギー 種別	消費量 (A)	生産数(千個) (B)	千個当りの エネルギー消費量(kwh/千個) (A/B)	排出係数 電気(kg-CO2/kwh) (C)	千個当りの CO2排出量 (A/B)×(C)×(D)
電気A社(kwh)	616,234		16.7516	0.406	6.8011
				化石燃料(kg-CO2/L)	
軽油 (ℓ)	5,308.30	36,786.6	0.1443	2.58	0.3723
ガソリン (ℓ)	2,337.14		0.0635	2.32	0.1474
灯油 (ℓ)	0.00		0.0000	2.49	0.0000

6-2 実績(エネルギー資源・環境資源排出量)

不良数(個数) ※1部品を対象

部品A 製品単価 (1.20) 再資源 (有価材) (25円/K g)															
2018.10～2019.9		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	金額
部品重量 (0.73g)	生産数	529524	793386	734442	686412	662214	722184	667632	567780	487650	677448	601590	518166	7648428	
	不良数	21441	6885	14240	4691	12404	4	0	13	39151	4	1	8307	107141	128,569
	歩留まり	99.960	99.991	99.981	99.993	99.981	100.000	100.000	100.000	99.920	100.000	100.000	99.984	99.984	
	廃棄量(Kg)	15.65	5.03	10.40	3.42	9.05	0.00	0.00	0.01	28.58	0.00	0.00	6.06	78.21	1.955

不良数(部品) -有価 = 損失金額 128,569 — 1,955 = 126,614

※不良数処理 (有価)

部品A 製品単価 (1.20) 再資源 (有価材) (25円/K g)															
2019.10～2020.9		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	金額
部品重量 (0.73g)	生産数	452028	538218	429024	338652	527256	270786	362790	172424	417976	365472	432048	410720	4717394	
	不良数	180	3	65	7164	23005	40934	59554	5	50	148	41	0	131149	157,379
	歩留まり	100.000	100.000	100.000	99.979	99.956	99.849	99.836	100.000	100.000	100.000	100.000	100.000	99.968	
	廃棄量 (Kg)	0.13	0.00	0.05	5.23	16.79	29.88	43.47	0.00	0.04	0.11	0.03	0.00	95.74	2.393

不良数(部品) -有価 = 損失金額 157,379 — 2,393 = 154,985

※不良数処理 (有価)

部品A 製品単価 (1.20) 再資源 (有価材) (25円/K g)															
2020.10～2021.9		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	金額
部品重量 (0.73g)	生産数	487208	676472	465888	526328	674440	487144	827168	607624	585128	768592	555688	449216	7110896	
	不良数	8852	13100	13319	612	9960	39022	2	4	17539	13623	19	6	116058	139,270
	歩留まり	99.982	99.981	99.971	99.999	99.985	99.920	100.000	100.000	99.970	99.982	100.000	100.000	99.983	
	廃棄量 (Kg)	6.46	9.56	9.72	0.45	7.27	28.49	0.00	0.00	12.80	9.94	0.01	0.00	84.72	2.118

不良数(部品) -有価 = 損失金額 139,270 — 2,118 = 137,152

※不良数処理 (有価)

部品A 製品単価 (1.72) 再資源 (有価材) (25円/ K g)															
2021.10～2022.9		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	金額
部品重量 (0.73g)	生産数	955776	479360	#####	595224	590160	#####	591064	604920	869048	592552	918904	#####	9268424	
	不良数	1506	1201	1604	1301	1302	1805	805	16286	1702	1601	4031	1048	34192	58,810
	歩留まり	99.998	99.997	99.998	99.998	99.998	99.998	99.999	99.973	99.998	99.997	99.996	99.999	99.996	
	廃棄量 (Kg)	1.10	0.88	1.17	0.95	0.95	1.32	0.59	11.89	1.24	1.17	2.94	0.77	24.96	624
不良数 (部品)		有価 損全額		58,810		624		=		58,186					

不良数(部品) -有価 = 損失金額 58,810 — 624 = 58,186

※不良数処理 (有価)

部品A 製品単価 (1.95) 再資源 (有価材) (25円/K g)															
2022.10～2023.9		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	金額
部品重量 (0.8g)	生産数	543920	620976	489576	451680	450984	673184	642960	317856	573960	331344	412672	552936	6062048	
	不良数	1003	1004	101	131078	42026	100	4007	109	108	109	501	8003	188149	366,891
	歩留まり	99.998	99.998	100.000	99.710	99.907	100.000	99.994	100.000	100.000	100.000	99.999	99.986	99.966	
	廃棄量(Kg)	0.73	0.73	0.07	95.69	30.68	0.07	2.93	0.08	0.08	0.08	0.37	5.84	137.35	3.434

不良数(部品) -有価 = 損失金額 366,891 — 3,434 = 363,457

※不良数処理 (有価)

部品A 製品単価 (1.97) 再資源 (有価材) (27円/K g)															
2023.10～2024.9		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	金額
部品重量 (0.8g)	生産数	378880	597464	505768	224632	553480	136760	550736	313088	387648	616832	279168	554760	5099216	
	不良数	9898	3010	2539	1128	2785	684	2757	1567	1940	3099	1404	8782	39593	77,998
	歩留まり	99.974	99.995	99.995	99.995	99.995	99.995	99.995	99.995	99.995	99.995	99.995	99.984	99.992	
	廃棄量 (Kg)	7.23	2.20	1.85	0.82	2.03	0.50	2.01	1.14	1.42	2.26	1.02	6.41	28.90	780
不良数 (部品) -有価 = 損失金額		77,998				—		780		=		77,218			

不良数(部品) -有価 = 損失金額 77,998 — 780 = 77,218

総資源量と最終処理量

2023.10～2024.9				
項目	量		料金 (円)	損失金額(21年度)損失金額(22年度)
最終処理	0	Kg	0	-107,550 -177,700
材料有価(PBT以外)	36,852	Kg	148,933	388,794 284,447
材料有価(PBT)	2,173	Kg	58,671	54,175 49,734
不良数(個数)損失分	39,593	個	-77,998	-58,810 -366,891
不良品有価処理	29	kg	780	624 3,434
合計			130,386	277,233 -206,976

7、設定した目標の数値を達成するための環境保全取組活動について

環境保全取組項目	実施活動内容	実施結果	評価
使用電力量の削減			達成
使用設備等のデータ収集	・使用電力量のデータ管理	使用量の把握が出来ていた。	○
	・電力会社2社との取引開始	2社でのデータ管理の実施	-
電源・電灯スイッチ等の節電の徹底	・空調設備使用時の適正温度での使用	適正温度で使用出来ていた。	○
電気基本使用量(基本料)の見直し	・使用作業機械類の通電状態の確認の徹底	工場内のインバーター交換し、使用量の見直しが出来た。	○
製品不良(成形効率アップ) ・歩留まりの削減	・製品不具合低減及び原材料の管理	・材料のデータ収集は出来ていた。 ・製品不良の低減が出来ていなかった	△
設備点検漏れの見直し	・設備点検漏れにて設備負担により過電力の管理	・コンプレッサーに負担が掛かり過剰に電気が浪費しており、設備にも故障が発生した。	△
設備能力の見直し	・設備仕様書の把握	設備消費エネルギー一覧表の作成	○
設備老朽化の見直し	・点検等にて清掃、交換の実施	オイルドレーン交換の実施	○
CO2排出量の削減	・データ収集	前年に比べ低減できた	○
化石燃料消費量の削減			達成
化石燃料消費量のデータ収集と使用料金の見直し	・化石燃料使用量のデータ管理	使用量の把握が出来ていた。	○
アイドリングストップの徹底	・アイドリングストップの徹底	目視ではあるが、出来ていた。	○
過積載等の禁止の徹底	・過積載運行の禁止の徹底	目視ではあるが、出来ていた。	○
運搬経路の見直し	・運搬経路での見直し実施	使用データ収集は出来てた。	○
冷暖房器具等の適正温度での使用	・冷暖房器具等の適正温度での使用	適正温度で使用出来ていた。	○
冷暖房機見直し	・工場内の冷暖房機適正容量かの見直し	適正容量にあつて無い暖房機を使用していた	△
CO2排出量の削減	・データ収集	前年に比べ低減できた	○
産業廃棄物排出量の削減			達成
産業廃棄物排出量のデータ収集	・廃棄物の分別収集及びマニフェスト伝票の管理	使用量の把握が出来ていた。	○
	・産業廃棄物管理表交付等状況報告書提出	保健所に提出(運搬委託者、数量報告)	○
廃油売却量調査	・油の再生(リサイクル)運用の推進	リサイクルし、運用出来ていた。	○
再生材売却量調査	・廃棄物の再生(リサイクル)運用の推進	自社調達で出来ていた。	○
製品不良・歩留まりの削減	・製品不良の削減の徹底	製品不良削減出来ていた。	○
CO2排出量の削減	・データ収集	前年に比べ低減できた	○
フロン排出抑制法に基づく簡易点検の実施	・点検表の作成	定期的な実施ができた	○
水資源投入量の削減			達成
水資源投入量のデータ収集	・水資源投入量のデータ管理	投入量の把握が出来ていた。	○
成形機のオイル漏れの定期点検の実施	・社内設備の漏水箇所の定期点検実施の徹底	定期的に点検実施出来ていた。	○
排水口の処理と管理	・場内排水路・排水桝の清掃及び定期的点検	定期的に点検実施出来ていた。	○
水質検査の実施	・水質点検・検査の実施の徹底	PH値測定・データを定期的に実施出来ていた。	○
作業停止時の止水の徹底	・作業機械の停止時の止水の確認	停止時の閉め忘れは無かった。	○
設備からの水漏れ点検	・クーリングタワーからの配管確認	配管漏れ無し	達成
5S活動の推進			○
5S活動の計画	・年間計画の立案、工程表作成	年間工程表が作成されていた。	○
5S活動計画の実施	・各エリアごとに5S活動を実施	計画に沿って5S活動が実施できた。	○
5Sチェックシート作成・活用	・5S作成し、自己採点での実施	作成し自己採点の実施ができた。	○
5S活動の実施状況の確認と是正処置	・実施状況の確認と是正処置の実施	確認と是正処置が実施されていた。	

2) その他の取組

地域及び社会貢献活動の推進

近隣地域の環境活動の一つの拠点として地域の環境保全イベント等が無く
会社周辺の清掃を実施した。

化学物質の適切な管理

化学物質として製品材料のほかに少量のシンナーとアルコールを使用しているので、
成分等を調査し、SDSに基づいて適切に管理を行った。

8. 環境関連法規への違反、告訴等の有無

環境関連法規への違反はありません。なお関係当局よりの違法等の指摘は過去3年間ありません。

工場該当法規制一覧表

						作 成	照 査	承 認	認 可
						(神)品質 2024/02/02 林田	(神)品質 2024/02/02 林田	(神)工場長 2024/02/02 岡村	(神)代表取締役 2024/02/02 荒木
	適用法・遵守事項		遵守評価 の結果	届出 許可	証明 報告	届出行政機関 関連機関	対象施設名	仕様能力	
	区分	法・条例							
水質汚濁防止	法	水質汚濁法 ①pH検査の実施 ②汚濁事故の適切な処置	○ ○	○		宇土市環境課	側溝 油水分離槽	オイル等(漏洩時)	
	県条	熊本県地下水保全条例 ①井戸設置届 ②地下水使用量の報告	○ ○			宇土市水道課	揚水設備	揚水量 0.09m ³ /min 揚水断面積 8.0cm ² 揚水出力 0.7kW	
	市条	宇土市下水道条例				宇土市下水道課	公共下水道	排水量5.75m ³ /日	
	法	騒音規制法 ①騒音特定設備の届け出	○	○		宇土市環境課	樹脂射出成形機 エアーコンプレッサー	350t×1台 220t×1台 180t×4台 120t×5台 80t×1台 60t×1台 50t×1台 40t×3台 11kw 1台 7.5kW 2台 3.7kw1台 2.2Kw2台	
騒音規制	県条	熊本県生活環境保全条例 ①騒音特定設備の届け出	○	○		宇土市環境課	エアーコンプレッサー エアコン	11kw 1台 7.5kW 2台 3.7kw1台 2.2Kw2台 4.5kW 1台 3.75kW×1台 2.77~2.33kW3台 1.25Kw1台 1.9kw 1台 3.0Kw 1台	
	法	振動規制法 ①振動規制法対象区域	○			宇土市環境課	樹脂射出成形機	350t×1台 220t×1台 180t×4台 120t×5台 80t×1台 60t×1台 50t×1台 40t×3台	
	法	廃棄物及び清掃に関する法律 ①委託業者との契約書締結 業の許可証の確認(種別、期間等) (収集運搬業者、処理業者) ②マニフェスト伝票受領、保管 ③産業廃棄物管理票交付等状況報告 ④廃棄物の減量化及び 再生利用および廃棄物の 適正処理の推進 ⑤水銀に関する水俣条約	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	委託業者 委託業者 保健所	産業廃棄物 一般廃棄物 有価物	廃プラ等	
防災関係	法	消防法 ①消防用設備点検、報告 (消火器、警報機) ②指定可燃物置場の消火器の設置	○ ○	○	○	消防署 消防署	工場内 指定可燃物(倉庫内)	第4号油類 5970L 合成樹脂 10t	
	法	フロン排出抑制法 ①廃棄時に適切な業者へ引渡し ②引渡書又はフロン回収証明書 受領保管 ③簡易点検表にて点検実施	○ ○ ○	○	○	委託業者 委託業者	エアコン	エアコン 6台 4.5kW 1台 3.75kW×1台 2.77~2.33kW3台 1.25Kw1台 1.9kw 1台 3.0Kw 1台 エアドライヤー 0.35kW×3台 0.26kW×1台 0.7kw×1台	
オゾン層保護	県条	①廃棄時に適切な業者へ引渡し ②引渡書又はフロン回収証明書 受領保管 ③簡易点検表にて点検実施	○ ○ ○	○	○	委託業者 委託業者	エアコン	エアコン 6台 4.5kW 1台 3.75kW×1台 2.77~2.33kW3台 1.25Kw1台 1.9kw 1台 3.0Kw 1台 エアドライヤー 0.35kW×3台 0.26kW×1台 0.7kw×1台	
	法	自動車リサイクル法 ①廃棄時に適切な業者への引渡し ②自動車リサイクル料の支払い 家電リサイクル法 ①廃棄時に適切な業者への引渡し ②家電リサイクル料の支払い リサイクル法(PC) ①廃棄時に適切な業者への引渡し ②リサイクル料の支払い	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			委託業者 委託業者 委託業者	公用車の廃棄 家庭用エアコン 家庭用冷蔵庫 パソコン プリンター		
	法	自動車リサイクル法 ①廃棄時に適切な業者への引渡し ②自動車リサイクル料の支払い 家電リサイクル法 ①廃棄時に適切な業者への引渡し ②家電リサイクル料の支払い リサイクル法(PC) ①廃棄時に適切な業者への引渡し ②リサイクル料の支払い	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			委託業者 委託業者 委託業者	公用車の廃棄 家庭用エアコン 家庭用冷蔵庫 パソコン プリンター		
	法	自動車リサイクル法 ①廃棄時に適切な業者への引渡し ②自動車リサイクル料の支払い 家電リサイクル法 ①廃棄時に適切な業者への引渡し ②家電リサイクル料の支払い リサイクル法(PC) ①廃棄時に適切な業者への引渡し ②リサイクル料の支払い	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			委託業者 委託業者 委託業者	公用車の廃棄 家庭用エアコン 家庭用冷蔵庫 パソコン プリンター		
顧客からの環境要求		①JAMP chemSHERPA=ケムシェルパ	○			顧客への対応、連絡	パソコン		

9,次年度の取組

前ページの表で示した通り、18年度を基準に設定して23年度に取り組んで参りました。
24年度も引き続き使用電力消費量の削減については、再度生産工程、成形稼働日、週初め一斉電源稼働負荷の見直しと製品不良の発生率を低減させ、無駄なエネルギーの削減に努め、取組んで参ります。
化石燃料消費量削減については、23年度では自社から大分への便を運送会社に依頼しており、化石燃料が減少している。
昨年同様納品運搬でのルートの見直しと、納期日の見直しで3社同日納期を実施しエネルギーの削減に努め
二酸化炭素排出量の低減に取り組んで行きます。
目標設定については18年度実績を基に19年度～23年度の5ヵ年にて製品千個当たりのCO2削減の目標設定を定めた。
来期は23年度を基に目標設定(3ヵ年)を定める。

この使用電力消費量と化石燃料消費量と資源排出量の削減を行なうことにより、二酸化炭素排出量の削減に重点を置き、
今後も社員全員で環境負荷削減に取り組んで行きます。
特に電力につきましては値上げの影響がある為、こまめな節電に力を入れていきたい。
廃棄物のリサイクル化の推進、節水活動の推進、製品サービスの環境配慮(5S活動)を継続し
特に水資源投入量の削減のための環境保全活動は社員全員で取組みしていく。

※ 当社環境保全取組活動における担当者

環境責任者 林田 拓朗

10. 代表者による全体評価と見直し指示

昨年能登地方を震源する太規模地震並びに豪雨災害により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げるとともに、
被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
そして被災地域のみなさまの一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

本年度も目標としてエネルギー投入量削減を掲げておりますが、生産量に対してCO2排出量が削減しておりました。
来年度も新規製品があり、一部増産予定です。今期は運送会社の配送に変更があり軽油が削減されている。
自社便に対しては引き続き配送手段、ルートの見直しが必要になると思われる。

今後も引き続きデータ収集の実施と見直しを行い更なる温室効果ガス排出量の低減に努めて下さい。
来期については新たな目標設定し更なる温室効果ガス排出低減に向けて社員全員にて取り組んで下さい。
最終処分量の削減で処分費用を減らす様取り組んで下さい。

- ・環境経営方針: 見直しの必要無し
- ・環境経営目標及び環境経営計画: 次期3ヵ年環境経営目標を設定する。
- ・実施体制: 変更無し

2025年 2月 17日
代表取締役 荒木 晴美



11.時期環境経営目標(計画:2024～2026)

事業年度 期首:10月 期末:9月

		実績	環境目標		
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
番号	項目	基準年実績	環境目標	環境目標	環境目標
1	二酸化炭素排出量	250,191	基準年度実績の1%低減	基準年度実績の2%低減	基準年度実績の3%低減
		kg-CO2	247,689	245,187	242,685
1-1	電気使用量の削減	616,234	基準年度実績の1%低減	基準年度実績の2%低減	基準年度実績の3%低減
		kWh	610,072	603,909	597,747
1-2	ガソリン使用量の削減	2337	基準年度実績の1%低減	基準年度実績の2%低減	基準年度実績の3%低減
		ℓ	2,314	2,290	2,267
1-3	軽油使用量の削減	5308	基準年度実績の1%低減	基準年度実績の2%低減	基準年度実績の3%低減
		ℓ	5,255	5,202	5,149
1-4	灯油の使用量削減	0	基準年度実績の1%低減	基準年度実績の2%低減	基準年度実績の3%低減
		ℓ	0	0	0
2-1	一般廃棄物のリサイクル推進	100%	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進
2-2	産業廃棄物のリサイクル推進	100%	廃棄物のリサイクル率100%	廃棄物のリサイクル率100%	廃棄物のリサイクル率100%
3	地下水使用量の削減	8471.5	基準年度実績の1%低減	基準年度実績の2%低減	基準年度実績の3%低減
		m³	8,387	8,302	8,217
4	化学物質、CiP管理	—	適正管理	適正管理	適正管理
5	地域貢献	地域清掃(会社周辺)	1回/年	1回/年	1回/年

※電気の二酸化炭素排出係数は、2023年度の九州電力調整後排出係数の0.406kg-CO2/kWhを使用